

秋分の日を境にめっきり朝晩が涼しくなり秋本番です。

はなのき会館大規模改修竣工と立村 130 年記念事業としての第 43 回東白川村郷土歌舞伎公演に、役者として出演する機会をいただきました。役どころは東白川村の民を護る「守護聖天 大日丸」という妖術使い。長セリフあり、見得あり、六法を踏んでの退場ありで初心者には大変でしたが、師匠や出演者の皆様の御指導よろしく、何とか無事大役を演ずることが出来ほっとしております。この芝居の劇中の口上では

『立村 130 年という節目の年に当たり、先人の強い意志と地域の力を信じこの村の人々が安心して暮らしを営み、充実した人生を送れるよう努力をして参ります事をお誓い申し上げます』と舞台から大見得を切りましたので、しっかりと約束を果たしてまいる所存です。

9 月 10 日から開催された第 3 回村議会定例会では、平成 30 年度の決算について審議いただき認定を受けましたので、その内容について少し説明させていただきます。

まず財政健全化については、計画的な財政運営に努めた結果、財政健全化法の実質公債費比率は少し上がり 11.0%となりました。これは地方交付税など歳入が減少したことにより起債の返済額の割合が増加したためですが、当初予算では財政調整基金を 1 億 6 千万円繰り入れることにしておりましたが、有利な起債の活用や経費の削減に努めた結果、これを使わずに決算できましたことは大きな成果であったと考えています。

診療所と老健の建設のために基金としてあった 3 億 50 万円は、全額活用して、建設資金に充當いたしました。

村の将来のための投資的事業として CATV の光ファイバー化事業に着手、診療所と老健施設の新設工事は繰り越し事業になりましたが今年度 10 月に完成をいたします。はなのき会館の整備事業も 3 期目が完成し、今年度 8 月末で駐車場や屋根の修繕を行い 4 年かけた事業が完成いたしました。

道路整備では中山間地域総合整備事業で大明神の山元橋が完成、魚戸線の落石対策工事などを実施、官民協働の地域づくり事業で中谷地区から要望があった中谷墓地の駐車場と進入路を整備することができました。

小学校や中学校への PC タブレットの整備、高校生の通学支援、濃飛バスの白川・東白川線の充実など、住民生活に直結した事業も実施することができました。

紙面の都合上全てを紹介できませんが、限られた予算で効率的な行財政運営ができましたのも、ひとえに村民の皆様のご理解とご協力の賜物と深く感謝申し上げてご報告といたします。

令和元年度も半期が過ぎようとしております。

下半期の立村 130 周年記念行事、診療所・老健の移転開業など、確実な事業推進に傾注してまいります。

令和元年 10 月 1 日

東白川村長 今井俊郎